

VB経営 虎の巻

24時間365日働いている経営者は多い。「夜中にハッと目覚めて枕元のメモに殴り書きする」「ある事が気になりだすと、一度帰宅したのに会社に戻ってしまつ」……経営者といふものは元来、心配性だ。そのためか、特定の社員の動向を気にする人が非常に多い。自分が知らないところで何をしているのか、気になってしょうがないのだ。この傾向は、ベンチャー企業オーナー経営者に特に目立つ。

「コンサルタントとして、あるいは経営のパートナー

特定の社員の動向が気になる



インディゴブルー社長 柴田 励司氏

1985年上智大文卒。マ
ーサー・ヒューマンリソース
・コンサルティング(現マース
・シヤパン)社長などを経て、

2008年カルチュア・コ
・ビエンス・クラブ(CCC)
の最高執行責任者(COO)
に就任。10年6月から現職。

として、これまでに20人を
超えるオーナー経営者と深
く付き合ってきた。オーナ
ー経営者らは自分の社員を

だし、基本的には愛情を持
って接している。
次は、客人だ。「自分が
不足している部分を補って

無意識のうちに、おおむね
3つに分類し、接している
と思う。

「自分は、客入だ。自分が
不足している部分を補って
客人が加わり、そのうち他

「子分」の取り扱い要注意

「遊んでいるんじゃないの
か」と。
子分にしてみれば、いい
ように使われ、揚げ句の果
てに隘口をたたかれる。当
然「やっつけられない」とい
う展開になりがち。こうし
たことが繰り返されるうち
に子分にも自我が芽生え、
社長との間に溝ができる。

人が増えていくという横図
になっていく。
子分については、自分の
目を届くところではないと
とをたたくらぬでいいか」とい
う具合に疑心暗鬼とな
る。業務上の必要性があっ
て出張していたことが分か
っても、ついつい口走って

「遊んでいるんじゃないの
か」と思っているが、ついつ
い繰り返してしまう。た
という気持ちの対象外だ。

「自分は、客入だ。自分が
不足している部分を補って
客人が加わり、そのうち他

組織的に何ともいえない厭
戦(えんせん)気分になる。
戦(えんせん)気分になる。
戦(えんせん)気分になる。

先日、あるオーナー系企
業の合宿研修で、社長に「手
紙」が手渡された。幹部全
員で、行動を改めてもらう
ようにお願いしたのだ。社
長は、皆の前で改善を約束
し、拍手喝采を受けた。

「遊んでいるんじゃないの
か」と思っているが、ついつ
い繰り返してしまう。た
という気持ちの対象外だ。

「遊んでいるんじゃないの
か」と思っているが、ついつ
い繰り返してしまう。た
という気持ちの対象外だ。